

④一般国道42号(近畿自動車道紀勢線)
串本太地道路

費用便益分析の結果

様式一2

路線名	事業名	延長	事業種別	現払・B・P・ その他の別
近畿自動車道絶勢線	和歌山JCT ～勢和多気JCT	L=278km	高規格道路	B・P
計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体		
14,100	2、4	近畿地方整備局		

① 費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	3,516億円	818億円	4,334億円
基準年における 現在価値(C)	2,754億円	247億円	3,001億円

② 便益	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成32年度、平成34年度、平成35年度、平成36年度、 平成40年度、平成41年度、平成47年度			
単年便益 (初年便益)	8.0億円	1.6億円	0.45億円	10億円
基準年における 現在価値(B)	3,867億円	339億円	98億円	4,304億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.4
経済的純現在価値(B-C)	1,303億円
経済的內部収益率(EIRR)	7.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	14,100台/日	±10%	1.2~1.7
事業費	3,516億円	±10%	1.3~1.6
事業期間	17年	±20%	1.1~1.6

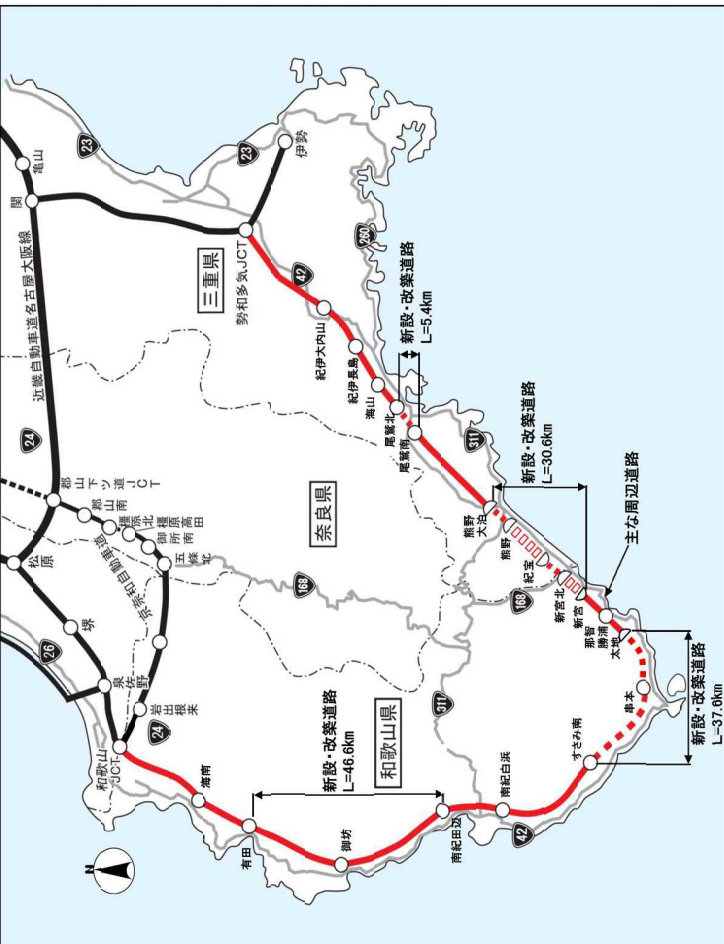
交通状況の変化 事業名：和歌山JCT～勢和多気JCT（事業全体）

(推計時点 H42年)

		整備なし(A)		整備あり(B)	
①新設・改築道路 (120.2km)	交通量	[台/日]	17,800		14,100
	走行時間	[分]	58		82
	走行時間費用	[億円/年]	200.99		207.15
	交通量	[台/日]	10,600		7,300
	走行時間	[分]	265		243
	走行時間費用	[億円/年]	502.63		346.60
	交通量	[台/日]	0		0
②主な周 辺道路	走行時間	[分]	0		0
	走行時間費用	[億円/年]	0.00		0.00
	交通量	[台/日]	0		0
	走行時間	[分]	0		0
	走行時間費用	[億円/年]	0.00		0.00
	交通量	[台/日]	0		0
	走行時間	[分]	0		0
③その他道路合計 (27.434.7km)	走行時間費用	[億円/年]	106,052.87		105,978.70

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)
合計：27,698.3km	走行時間短縮便益 [億円/年]	106,756.49	106,532.45	224.04

(2) 図面 ①、②に該当する道路を明示すること



※1： 四捨五入の関係で合計値が一致しない場合がある。

費用便益分析の条件

事業名：和歌山JCT～勢和多気JCT

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
	1時点のみ推計 複数年次	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
交通流の推計時点	複数年次での推計	<input type="checkbox"/>
	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみの推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみの推計とした理由を記載	
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
推計に用いたOD表	ハーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input type="checkbox"/>
	有	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮した開発交通量(トリップ数) 有の場合のみ 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日
交通流推計	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
配分交通量の推計手法	簡易手法の探検理由	<input type="checkbox"/>
	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分) 各回の配分終了時の速度を交通量でウエイト付けして設定 採用理由を記載	<input checked="" type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

事業名：和歌山JCT～勢和多気JCT

(3)

項目		チェック欄
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>
	面的に考慮 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 休日係数を考慮した理由(おおよび採用した休日係数の考え方を記載)	<input type="checkbox"/>
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>
	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>
	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
交通流推計の時点以外の便益の算定	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮しない	<input type="checkbox"/>
	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮 中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮しない 考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>
その他		<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名：近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT～勢和多気JCT

費用の算定	項目	チェック欄	
		詳細事業計画による値を採用	標準投資パターンを採用
事業費	その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持管理費の算定根拠を記載	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
維持管理費	既存の路線の実績を参考に設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
雪害費	考慮しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	考慮する 場合のみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. その他			

維持管理費の算定根拠の算出(積算係数相当を含む)

年次	年度	割引率	GDP	事業費(億円)		単価(億円)	
				単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値
17年度	H 30	0.9815	102.9	226.30	211.82	0.15	17.68
18年度	H 31	0.9246	102.9	326.45	301.84		
部分供用開始	H 32	0.8890	102.9	340.60	302.79		
部分1年度	H 33	0.8548	102.9	388.07	331.72		1.03
部分供用開始	H 34	0.8219	102.9	408.47	335.72		2.03
部分1年度	H 35	0.7903	102.9	301.20	238.04		1.67
部分供用開始	H 36	0.7599	102.9	199.20	151.37		2.27
部分1年度	H 37	0.7307	102.9	294.31	215.06		6.75
部分5年度	H 38	0.7026	102.9	385.98	271.19		6.65
部分7年度	H 39	0.6756	102.9	250.47	169.22		6.55
部分供用開始	H 40	0.6498	102.9	75.19	48.85		1.38
部分1年度	H 41	0.6248	102.9	51.39	32.10		12.19
部分10年度	H 42	0.6006	102.9	60.69	36.43		13.19
部分11年度	H 43	0.5775	102.9	64.35	37.16		7.82
部分12年度	H 44	0.5553	102.9	55.09	30.89		13.19
部分13年度	H 45	0.5339	102.9	50.46	26.84		13.19
部分14年度	H 46	0.5134	102.9	43.76	22.47		13.09
供用開始年次	H 47	0.4936	102.9				16.62
1年度	H 48	0.4746	102.9				16.62
2年度	H 49	0.4564	102.9				16.62
3年度	H 50	0.4388	102.9				16.62
4年度	H 51	0.4220	102.9				16.62
5年度	H 52	0.4057	102.9				16.62
6年度	H 53	0.3901	102.9				16.62
7年度	H 54	0.3751	102.9				16.62
8年度	H 55	0.3607	102.9				16.62
9年度	H 56	0.3468	102.9				16.62
10年度	H 57	0.3335	102.9				16.62
11年度	H 58	0.3207	102.9				16.62
12年度	H 59	0.3083	102.9				16.62
13年度	H 60	0.2965	102.9				16.62
14年度	H 61	0.2851	102.9				16.62
15年度	H 62	0.2741	102.9				16.62
16年度	H 63	0.2636	102.9				16.62
17年度	H 64	0.2534	102.9				16.62
18年度	H 65	0.2437	102.9				16.62
19年度	H 66	0.2343	102.9				16.62
20年度	H 67	0.2253	102.9				16.62
21年度	H 68	0.2166	102.9				16.62
22年度	H 69	0.2083	102.9				16.62
23年度	H 70	0.2003	102.9				16.62
24年度	H 71	0.1926	102.9				16.62
25年度	H 72	0.1852	102.9				16.62
26年度	H 73	0.1780	102.9				16.62
27年度	H 74	0.1712	102.9				16.62
28年度	H 75	0.1646	102.9				16.62
29年度	H 76	0.1583	102.9				16.62
30年度	H 77	0.1522	102.9				16.62
31年度	H 78	0.1463	102.9				16.62
32年度	H 79	0.1407	102.9				16.62
33年度	H 80	0.1353	102.9				16.62
34年度	H 81	0.1301	102.9	0.00	0.00		16.62
35年度	H 82	0.1251	102.9	0.00	0.00		16.62
36年度	H 83	0.1203	102.9	0.00	0.00		16.62
37年度	H 84	0.1157	102.9	-12.00	-1.39		16.62
38年度	H 85	0.1112	102.9	-4.03	-0.45		16.62
39年度	H 86	0.1069	102.9				16.62
40年度	H 87	0.1028	102.9				16.62
41年度	H 88	0.0989	102.9				16.62
42年度	H 89	0.0951	102.9	-29.43	-2.80		16.62
43年度	H 90	0.0914	102.9	-9.00	-0.82		16.62
44年度	H 91	0.0879	102.9				16.62
45年度	H 92	0.0845	102.9				16.62
46年度	H 93	0.0813	102.9				16.62
47年度	H 94	0.0781	102.9				16.62
48年度	H 95	0.0751	102.9				16.62
49年度	H 96	0.0722	102.9				16.62
合計				3413.74	2754.40		818.33
単年度事業費計				3515.95			818.33

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 計画対象期間最終年において、用地残存価値(前年度後の用地費)を控除している。

道路ネットワークの防災機能の向上効果計測の結果

Table with columns: 路線名, 事業名, 延長, 事業種別, 現況・BP・その他の別, 事業主体. Includes details for 近畿自動車道紀勢線 and 和歌山JCT ~ 勢和多気JCT.

Table with columns: 期待所要時間, 現状ネットワーク, 期待所要時間 (分), 将来ネットワーク.

Table with columns: 支援助点, 被災地点, 通常時, 災害時, 通常時, 災害時, 通常時, 災害時. Includes data for 和歌山県庁, 海南市, 上高田町, 新宮市.

Table with columns: 脆弱度・評価レベル, 整備あり, 脆弱度, 評価ランク, 脆弱度, 評価ランク, 脆弱度, 評価ランク. Includes data for 和歌山県庁, 海南市, 上高田町, 新宮市.

Table with columns: 改善度, 整備あり, 脆弱度, 評価ランク, 脆弱度, 評価ランク, 脆弱度, 評価ランク. Includes data for 和歌山県庁, 海南市, 上高田町, 新宮市.

便益の現在価値算定表 (事業全体)

Large table with columns: 年次, 年別, 事業種別, 現在価値, 便益算定, 合計. Contains detailed financial and benefit data for various project years and categories.

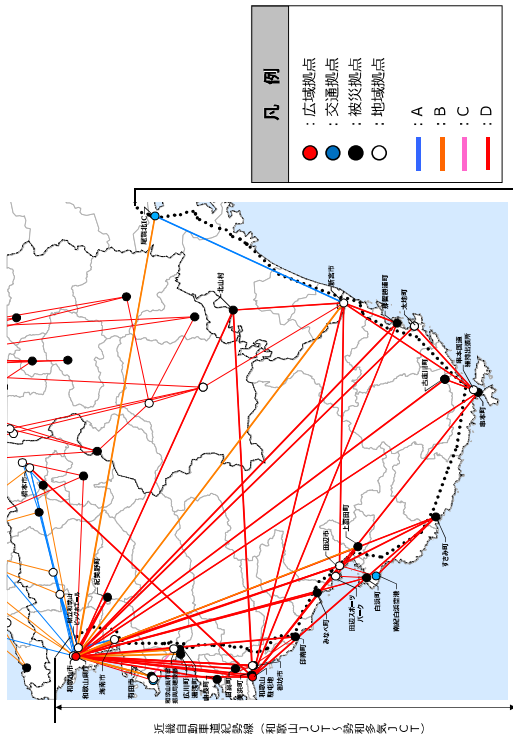
災害危険箇所毎の脆弱度の変化
事業名：近畿自動車道総勢線（和歌山JCT～勢和多気JCT）

道路整備によって影響を受ける拠点ヘア	整備なし			整備あり		
	① 拠点ヘアの脆弱度	② 災害危険区間の延長※1	③=①×② 累積脆弱度※2	④ 拠点ヘアの脆弱度	⑤ 災害危険区間の延長	⑥=④×⑤ 累積脆弱度※2
和歌山県庁	0.70	7.8	5.48	0.01	7.8	0.08
和歌山県庁	1.00	56.0	56.03	0.02	8.3	0.17
和歌山県庁	1.00	90.6	90.61	0.01	8.3	0.08
その他の拠点ヘア			1,949.08			490.01
累積脆弱度の合計						490.34

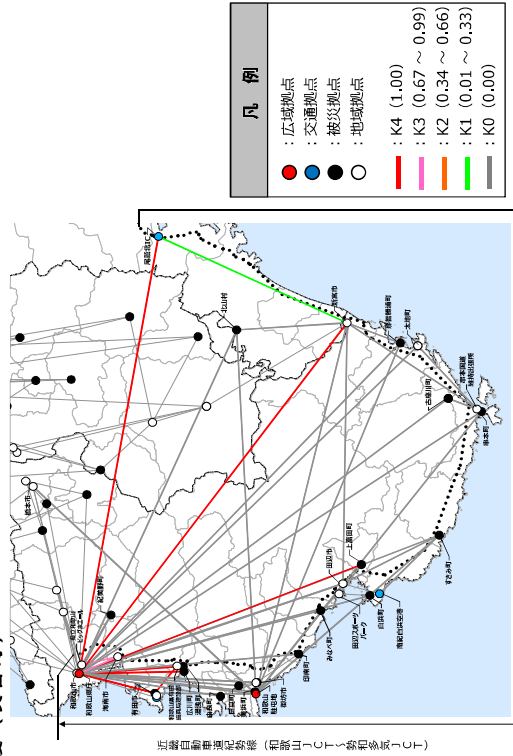
※1 各拠点間を結ぶ最短経路のうち、災害危険箇所が存在するリンク延長 (km)
※2 道路整備によって影響を受ける拠点ヘアの脆弱度と災害危険区間の延長の積 (km)

事業名：近畿自動車道総勢線（和歌山JCT～勢和多気JCT）

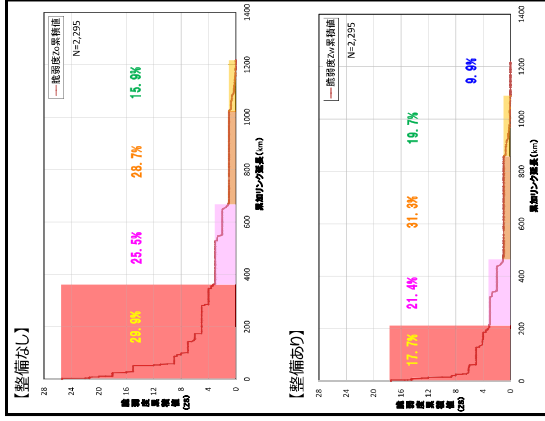
(1) 脆弱度（整備後）



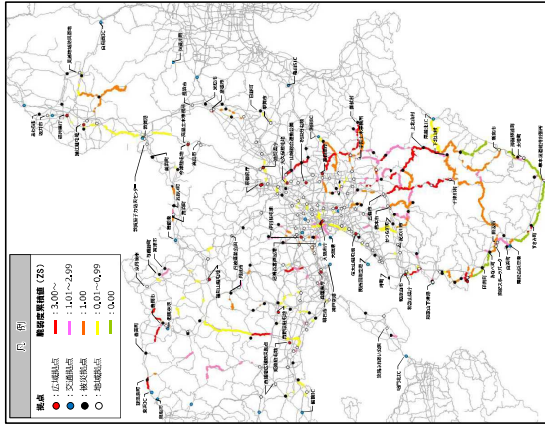
(2) 改善度（災害時）



累積脆弱度の変化



脆弱度の累積値分布（整備あり）



※ 脆弱度の累積値は、「整備なし」のケースにおいて、脆弱度累積値を有するリンクを対象に、値が大きいかから並べた上で、累積リンク延長を4等分した際の累積脆弱度を基準に設定。

道路ネットワークの防災機能の向上効果の計測条件

項目	チェック欄
算出マニュアル	道路ネットワークの防災機能の向上効果計測マニュアル(案) (平成28年2月 国土交通省 道路局 都市局) <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
評価対象	区間 (近畿自動車道紀勢線 和歌山JCT~勢和多気JCT) <input checked="" type="checkbox"/> 基準年次 平成29年
分析の基本的事項	道路リンクの構成 <input checked="" type="checkbox"/> (DRM2503)
リンク切断条件	地震 <input checked="" type="checkbox"/>
	津波 <input checked="" type="checkbox"/>
	対象災害 豪雨・豪雪 <input checked="" type="checkbox"/>
	火山 <input type="checkbox"/>
	その他 () <input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	シナリオ設定の考え方 <input checked="" type="checkbox"/> 規制速度 <input type="checkbox"/> その他
拠点の設定	補足的な <input checked="" type="checkbox"/>
	拠点の設定 考慮する () <input type="checkbox"/>
	面的な <input checked="" type="checkbox"/>
	拠点の設定 考慮する () <input type="checkbox"/>
拠点の重み	考慮しない (w=1.0) <input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する () <input type="checkbox"/>
分散パラメータ	平常時 1.0 <input checked="" type="checkbox"/>
	その他 () <input type="checkbox"/>
	災害時 0.1 <input checked="" type="checkbox"/>
算定する経路集合	その他 () <input type="checkbox"/>
	第一経路、第二経路 <input checked="" type="checkbox"/>
その他	() <input type="checkbox"/>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B P ・ その他の別
一般国道42号	串本太地道路	L = 18.4km	高規格道路	B P
計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体		
9,000	2車線	近畿地方整備局		

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年		平成29年度	
単純合計	834億円	181億円	1,015億円
基準年における 現在価値 (C)	614億円	53億円	667億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年		平成29年度		
供用年		平成40年度		
単年便益 (初年便益)	30億円	4.8億円	1.5億円	36億円
基準年における 現在価値 (B)	385億円	61億円	19億円	466億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	0.7
経済的純現在価値 (B-C)	-201億円
経済的內部収益率 (E I R R)	2.0%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	9,000台/日	±10%	0.6~0.8
事業費	834億円	±10%	0.6~0.8
事業期間	10年	±20%	0.7~0.7

交通状況の変化
事業名：串本太地道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

		整備なし(A)		整備あり(B)	
①新設・改築道路 (18.4km)	交通量	[台/日]	0		9,000
	走行時間	[分]	0		15
	走行時間費用	[億円/年]	0.00		22.38
	交通量	[台/日]	9,300		1,300
	走行時間	[分]	32		25
	走行時間費用	[億円/年]	52.27		6.30
	交通量	[台/日]	300		100
	走行時間	[分]	13		13
	走行時間費用	[億円/年]	0.63		0.21
	②主な周辺道路	交通量	[台/日]	300	
走行時間		[分]	12		11
走行時間費用		[億円/年]	0.58		0.01
交通量		[台/日]	0		0
走行時間		[分]	0		0
走行時間費用		[億円/年]	0.00		0.00
交通量		[台/日]	0		0
走行時間		[分]	0		0
走行時間費用		[億円/年]	0.00		0.00
③その他道路合計 (25,488.1km)		走行時間費用	[億円/年]	183,181.95	
合計：25,539.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	183,235.42	走行時間費用整備あり(B)	183,205.60
				走行時間短縮便益整備なし(A-B)	29.82

※1：四捨五入の関係で合計値が一致しない場合がある。

(2) 図面 ①、②に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：串本太地道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
交通流の推計時点	基準年次	平成29年
	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
推計の状況	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	整備の有無それぞれで交通流を推計 整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計とした理由を記載 の推計の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パナントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	その他()	<input type="checkbox"/>
	有 有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	<input checked="" type="checkbox"/> ()台/トリップ/日
交通流推計	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
配分交通量の推計手法	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
簡易手法	簡易手法の採択理由	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分) 各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input checked="" type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の種端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input type="checkbox"/>
その他()		<input type="checkbox"/>

事業名：串本太地道路

(3)

項目		チェック欄
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する	<input type="checkbox"/>
災害等による通行止めの影響	面的に考慮 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	考慮する 採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合の考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
	考慮する 採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	<input type="checkbox"/>
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/>
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>
	費用便益分析マニュアルの値を使用 独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
交通算定	中央分離帯の有無を考慮 中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	<input checked="" type="checkbox"/>
その他		<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(事業全体)

事業名: 串本太地道路

箇所名: 一般国道42号 串本太地道路

維持管理費の単価(単位: 円/延米) 0.21

単価(延米) 18.4

単価(延米) 3.91

事業費	項目	チェック欄
費用	維持管理費	<input type="checkbox"/>
	雪寒費	<input type="checkbox"/>
算定	当該道路整備が行われない場合の費用	<input type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	現在価値	単価(延米)	単価(延米)	現在価値
-10年目	H 30	0.9615	102.9	0.93	0.93	18.4	3.91	3.91
-9年目	H 31	0.9246	102.9	9.35	8.65			
-8年目	H 32	0.8890	102.9	15.88	14.12			
-7年目	H 33	0.8548	102.9	21.38	18.27			
-6年目	H 34	0.8219	102.9	42.17	34.66			
-5年目	H 35	0.7903	102.9	81.85	64.69			
-4年目	H 36	0.7599	102.9	118.61	90.13			
-3年目	H 37	0.7307	102.9	181.30	132.47			
-2年目	H 38	0.7026	102.9	244.17	171.55			
-1年目	H 39	0.6756	102.9	118.70	80.20			
供用開始年次	H 40	0.6496	102.9					
1年目	H 41	0.6246	102.9					3.62
2年目	H 42	0.6006	102.9					3.62
3年目	H 43	0.5775	102.9					3.62
4年目	H 44	0.5553	102.9					3.62
5年目	H 45	0.5339	102.9					3.62
6年目	H 46	0.5134	102.9					3.62
7年目	H 47	0.4936	102.9					3.62
8年目	H 48	0.4746	102.9					3.62
9年目	H 49	0.4564	102.9					3.62
10年目	H 50	0.4388	102.9					3.62
11年目	H 51	0.4220	102.9					3.62
12年目	H 52	0.4057	102.9					3.62
13年目	H 53	0.3901	102.9					3.62
14年目	H 54	0.3751	102.9					3.62
15年目	H 55	0.3607	102.9					3.62
16年目	H 56	0.3468	102.9					3.62
17年目	H 57	0.3335	102.9					3.62
18年目	H 58	0.3207	102.9					3.62
19年目	H 59	0.3083	102.9					3.62
20年目	H 60	0.2965	102.9					3.62
21年目	H 61	0.2851	102.9					3.62
22年目	H 62	0.2741	102.9					3.62
23年目	H 63	0.2636	102.9					3.62
24年目	H 64	0.2534	102.9					3.62
25年目	H 65	0.2437	102.9					3.62
26年目	H 66	0.2343	102.9					3.62
27年目	H 67	0.2253	102.9					3.62
28年目	H 68	0.2166	102.9					3.62
29年目	H 69	0.2083	102.9					3.62
30年目	H 70	0.2003	102.9					3.62
31年目	H 71	0.1926	102.9					3.62
32年目	H 72	0.1852	102.9					3.62
33年目	H 73	0.1780	102.9					3.62
34年目	H 74	0.1712	102.9					3.62
35年目	H 75	0.1646	102.9					3.62
36年目	H 76	0.1583	102.9					3.62
37年目	H 77	0.1522	102.9					3.62
38年目	H 78	0.1463	102.9					3.62
39年目	H 79	0.1407	102.9					3.62
40年目	H 80	0.1353	102.9					3.62
41年目	H 81	0.1301	102.9					3.62
42年目	H 82	0.1251	102.9					3.62
43年目	H 83	0.1203	102.9					3.62
44年目	H 84	0.1157	102.9					3.62
45年目	H 85	0.1112	102.9					3.62
46年目	H 86	0.1069	102.9					3.62
47年目	H 87	0.1028	102.9					3.62
48年目	H 88	0.0989	102.9					3.62
49年目	H 89	0.0951	102.9					3.62
合計								
単純事業費計				834.33		181.02		

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

道路ネットワークの防災機能の向上効果計測の結果

Table with multiple sections: ① 期待所要時間 (期待所要時間分), ② 脆弱度・評価レベル (脆弱度, 整備あり), ③ 改善度 (改善度). Columns include 路線名, 事業名, 延長, 事業種別, 被災地点, 支援助点, 脆弱度, 整備あり, 脆弱度, 評価ランク, 整備あり, 脆弱度, 評価ランク, 改善度, 被災地点, 支援助点, 脆弱度, 評価ランク, 改善度.

便益の現在価値算定表 (事業全体)

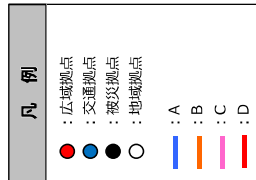
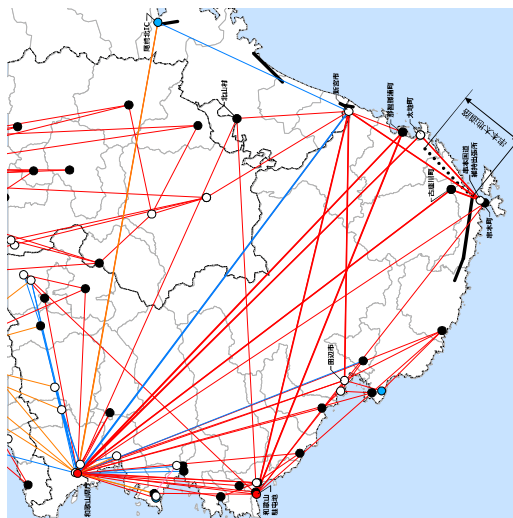
箇所名: 一般国道42号 串本太地道路

Large table with columns for 年次 (Year), 年度 (Fiscal Year), 総走行台別の年次別伸び率 (Annual growth rate by total driving mode), GDP デフレーター (GDP Deflator), 割引率 (Discount Rate), 走行経費便益 (Travel Cost Benefits), 事故減少便益 (Accident Reduction Benefits), 合計 (Total). It includes detailed financial and economic data for various vehicle types and years.

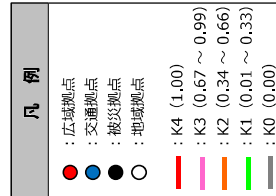
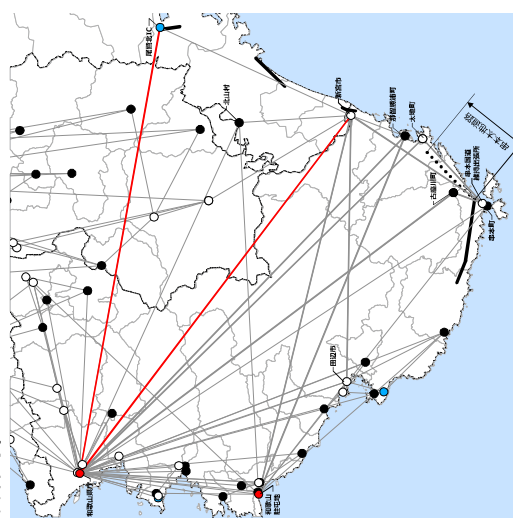
災害危険箇所毎の脆弱度の変化

事業名：一般国道42号 串本本地道路

(1) 脆弱度（整備後）



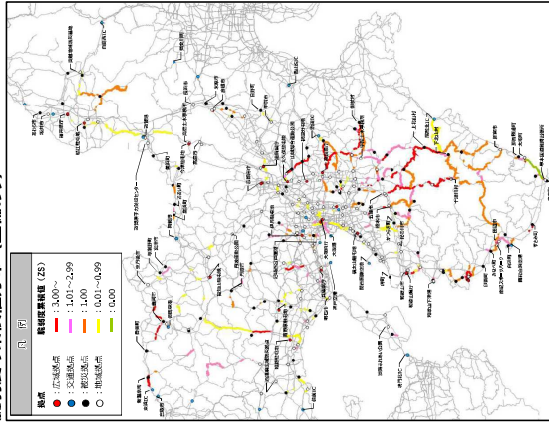
(2) 改善度（災害時）



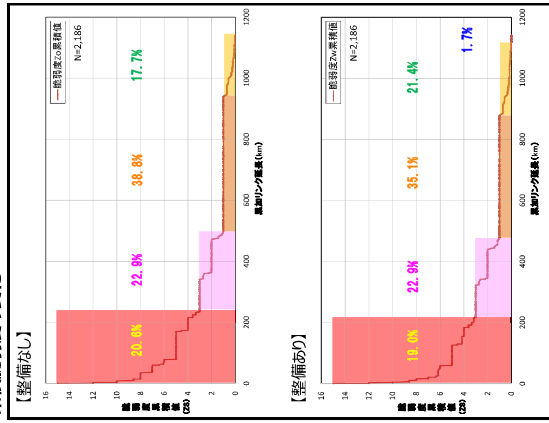
道路整備によって影響を受ける拠点ヘア	整備なし			整備あり		
	① 拠点ヘアの脆弱度	② 災害危険区間の延長※1	③=①×② 累積脆弱度※2	④ 拠点ヘアの脆弱度	⑤ 災害危険区間の延長	⑥=④×⑤ 累積脆弱度※2
主な						
和歌山県庁	1.00	20.0	20.04	0.00	0.0	0.00
尾鷲北IC	1.00	114.4	114.38	0.16	114.4	18.30
新宮市	1.00	21.1	21.14	1.00	1.1	1.09
その他の拠点ヘア			164.79			42.16
累積脆弱度の合計			320.36			61.55

※1 各地点間を経由高経路のうち、災害危険箇所が存在するリンク距離 (km)
 ※2 道路整備によって影響を受ける拠点ヘアの脆弱度と災害危険区間の延長の積 (km)

脆弱度の累積値分布（整備あり）



累積脆弱度の変化



※凡例の脆弱度は、「整備なし」のケースにおいて、脆弱度累積値を有するリンクを対象に、値が大きいく方から並べた上で、累積リンク延長を4等分した際の累積値に基づき設定。

道路ネットワークの防災機能の向上効果の計測条件

項目	チェック欄
算出マニュアル 道路ネットワークの防災機能の向上効果計測マニュアル(案) (平成28年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
評価対象 その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項 基準年次 道路リンクの構成	平成29年 <input checked="" type="checkbox"/> (DRM2503)
対象災害	<input checked="" type="checkbox"/>
シナリオ設定の考え方	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	<input checked="" type="checkbox"/>
拠点の設定	<input checked="" type="checkbox"/>
拠点の重み	<input checked="" type="checkbox"/>
分散パラメータ	<input checked="" type="checkbox"/>
算定する経路集合	<input checked="" type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	串本太地道路	2	18.4km

■ 事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
① 工事費	改良費		式	1	74,971	
			式	1	25,188	
			m	3,960,096	3,247	切土(211万m ³)、盛土(184万m ³)
			m	2,316,965	8,043	
			式	1	3,637	
			m	304,207	1,581	切土法面、盛土法面
			式	1	855	
			式	1	447	
			式	1	1,153	
			式	1	750	
			式	1	79	
			式	1	5,396	工事用道路他
			橋梁費		m	2,901
	m	404			2,703	6橋
	m	2,497			17,523	14橋
	m	6,866			19,114	全19本
	トンネル費		m	6,866	19,114	
			m	0	0	
	IC-JCT費		箇所	3	3,902	
			箇所	3	3,902	
	舗装費		箇所	0	0	
			m	250,633	3,322	橋梁、トンネル、ICの舗装含む
	付帯施設費		m	250,633	3,322	
m			0	0		
② 用地及補償費	用地費	式	1	2,273		
		式	1	1,349		
③ 間接経費 事業費合計	補償費	m	534,326	748	山林	
		m	69,663	188	田畑	
		m	16,114	402	宅地	
		m	621	11	その他	
		式	1	924		
式	1	12,756	地質調査、測量、設計にかかる費用等			
					90,000	

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	串本太地道路	2	18.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	18.4	3,400	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,150	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			19,550	